

第138回エイズ動向委員会
委員長コメント

《平成26年第2四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成26年3月31日～平成26年6月29日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は276件（前回報告243件、前年同時期294件）
そのうち男性263件、女性13件で、男性は前回（229件）より増加、前年同時期（286件）より減少、女性は前回（14件）より減少、前年同時期（8件）より増加
3. 新規AIDS患者報告数は120件（前回報告89件、前年同時期146件）
そのうち男性116件、女性4件で、男性は前回（87件）より増加、前年同時期（143件）より減少、女性は前回（2件）及び前年同時期（3件）より増加
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は396件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが202件（全HIV感染者報告数の約73%）
 - 異性間性的接触によるものが50件（全HIV感染者報告数の約18%）
そのうち男性40件、女性10件
 - 静注薬物によるものは3件（うち、その他に計上されているものが2件）
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが70件（全AIDS患者報告数の約58%）
 - 異性間性的接触によるものが32件（全AIDS患者報告数の約27%）
そのうち男性29件、女性3件
 - 静注薬物によるものは1件
 - 年齢別では、30～40代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成26年4月～6月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は29,106件
（前回報告速報値27,471件、前年同時期確定値24,165件）
自治体を実施する保健所以外の検査件数（速報値）は8,691件
（前回報告速報値8,011件、前年同時期確定値7,142件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は38,854件
（前回報告速報値37,298件、前年同時期確定値33,013件）

【献血の概況（平成26年1月～6月）】

1. 献血件数（速報値）は、2,511,475件（前年同時期速報値2,611,526件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は36件（前年同時期速報値37件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.433件（前年同時期速報値1.417件）

《まとめ》

1. 前回に比し、新規HIV感染者報告数、新規AIDS患者報告数はともに増加した。
2. 新規HIV感染者は20～30代、新規AIDS患者は30～40代で報告数が多いが、いずれも10～70代までの幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、誰もがHIVに感染する可能性があるため、適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
3. 前回及び前年同時期に比し、保健所等におけるHIV抗体検査件数、相談件数ともに増加した。
4. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名HIV抗体検査および相談を積極的に利用していただきたい。